

/支部便り

北海道支部第 50 回通常総会

社団法人日本建設機械化協会北海道支部第 50 回通常総会を平成 14 年 6 月 6 日午後 2 時 00 分から、札幌市中央区北 5 条西 5 丁目センチュリーロイヤルホテル 20 階白鳥の間で開催した。

佐野正弘事務長の開会の辞、大窪敏夫支部長の挨拶に統いて、支部規定第 13 条により大窪支部長が議長に就任して、本日の総会は支部団体会員 166 社のうち出席 145 社、うち委任状 56 社で、出席社が過半数を超えており、支部規程第 14 条により本総会は成立した旨宣言した。

大窪議長は、議事録署名人の選任について諮り、菱中建設(株)取締役副社長関谷強氏と佐藤工業(株)札幌支店副支店長畠山惇史氏を指名し、議案の審議に入った。

大窪議長は、第 1 号議案平成 13 年度事業報告承認の件と第 2 号議案平成 13 年度決算報告承認の件を上程し、第 1 号議案と第 2 号議案を石黒文夫事務局長に説明させた後、平成 13 年度会計監査の結果について、会計監事に報告を求めた。佐藤允会計監事は「4 月 18 日平成 13 年度の会計について監査を行ったところ、いずれも公正妥当と認めた」と報告した。大窪議長は、第 1 号議案と第 2 号議案について承認を求めるところ異議無く承認を得た。大窪議長は、第 3 号議案平成 14 年度事業計画に関する件と第 4 号議案平成 14 年度予算に関する件を上程し、第 3 号議案と第 4 号議案を石黒事務局長に説明させ議決を求めるところ、異議無く原案通り議決を得た。

大窪議長は、第 5 号議案平成 14・15 年度運営委員及び会計監事選任に関する件を上程し、選任の方法について諮り議長一任の決議を得て、第 1 回運営委員会で議決した候補者を原案通り選任した。

大窪議長は、本部事業概要報告に関する件について本部の事業概要報告を求めた。本部事業のうち建設機械化研究所関係の事業及び計画について、中島英輔所長が説明した。

引続いて平成 14 年度建設機械優良運転員・整備員の表彰式を行った。

佐野事務長が選考経過を報告した後、被表彰者を紹介し、大窪支部長から優良運転員 9 名、優良整備員 5 名に対して表彰状と記念品を贈り祝辞を述べて終了した。

平成 14・15 年度北海道支部運営委員及び会計監事・評議員・参与一覧

運営委員及び会計監事 (順不同)

支 部 長
大 窪 敏 夫 (財)北海道道路管理技術センター顧問
副 支 部 長
細 川 秀 人 岩倉建設(株)取締役副社長
工 藤 直 昭 北海道三菱ふそう自動車販売(株)取締役社長
常任運営委員
佐 藤 馨 一 北海道大学大学院工学研究科教授
大 橋 政 春 北海道機械開発(株)取締役顧問
笠 井 譲 一 安田建設(株)代表取締役副社長・札幌本店長
堅 田 豊 (財)北海道道路管理技術センター参与
小 谷 勝 也 伊藤組土建(株)常務取締役
小 寺 正 彦 北海道川重建機(株)代表取締役
下 村 純 行 北海道キャタピラー三菱建設機販売(株)取締役営業部長

永 田 一 博	(株)地崎工業執行役員	(株)取締役社長
中 村 文 彦	岩田建設(株)専務取締役	北海道いすゞ自動車(株)代表取締役
美 馬 孝	新太平洋建設(株)専務取締役	橋 本 行 弘 日通機工(株)代表取締役
三 森 勝 利	日立建機(株)北海道支社長	畠 山 悅 史 佐藤工業(株)札幌支店副支店長
山 萩 康 一	(株)小松製作所北海道エリオフィスエリアマネージャー	藤 枝 靖 規 (株)協和機械製作所代表取締役
運 営 委 員		松 本 宗 久 楢崎産業(株)専務取締役北海道支社長
奥 田 静 夫	(社)北海道建設業協会専務理事	丸 山 邦 彦 北日本重機(株)代表取締役
岡 崎 悠 吾	北海道建設業信用保証(株)常務取締役	宮 部 英 一 (株)松本組代表取締役社長
荻 野 治 雄	大林道路(株)常務取締役(北海道支店駐在)	矢 野 真 (株)日本除雪機製作所取締役社長
工 藤 公 健	鹿島建設(株)札幌支店副支店長	吉 田 紘 一 (株)土木技術コンサルタンクト取締役副社長
関 谷 強	菱中建設(株)取締役副社長	吉 留 盛 夫 北海道日野自動車(株)代表取締役
鉄 井 勝 之	中道機械(株)代表取締役社長	会計監事
鳥 居 勇	大成建設(株)札幌支店土木部長	大 野 俊 三 環境開発工業(株)代表取締役
中 田 隆 博	道路工業(株)代表取締役社長	西 本 藤 彦 前田建設工業(株)北海道支店常任技術顧問
中 谷 健 夫	日産ディーゼル北海道販売	

評議員 (順不同) ※代表評議員

※小町谷 信 彦 北海道開発局事業振興部機械課長
山 本 茂 北海道開発局事業振興部技

鈴 木 英 一	北海道開発局建設部河川計画課長	持課長
川 崎 博 巳	北海道開発局建設部道路建設課長	五十嵐 真 嘉 北海道建設部道路計画課長
上 田 正 昭	北海道開発局建設部道路維	阿 部 志 郎 北海道建設部道路整備課長
		高 橋 徹 男 札幌市建設局管理部雪対策室長

支部便り

顧問 (順不同)

伊藤義郎 伊藤組土建(株)取締役会長
大越孝雄 (株)地崎工業代表取締役会長
大屋満雄 (株)地崎工業顧問

小野修 元副支部長
熊倉勉 北海道機械開発(株)代表取締役会長
小西郁夫 北海道建設業信用保証(株)相談役
南井弘次 元副支部長
野崎莞二 コマツ北海道(株)代表取締

福井尚 役
北海道キャタピラー三菱建機販売(株)代表取締役
村田孝雄 元副支部長
山家博 北海道機械開発(株)相談役
吉野龍男 伊藤組土建(株)取締役社長

参与 (順不同)

宮本登 北海道大学大学院工学研究科教授
加藤常雄 札幌防衛施設局長
石島操 北海道森林管理局長

佐藤功 北海道札幌土木現業所長
西條肇昌 札幌市建設局長
田中賢龍 札幌市都市局長
仁科聰 札幌市下水道局長
生馬道紹 日本鉄道建設公团札幌工事事務所長
石川慎一 日本道路公团北海道支社副

高井博行 支社長
緑資源公团北海道支社長
武田善行 (財)北海道農業開発公社理事長
坂本眞一 北海道旅客鉄道(株)代表取締役社長
高橋耕平 北海道電力(株)土木部長

部会長 (順不同)

企画部会 小町谷信彦
広報部会 笠井謙一
技術部会 美馬孝
調査部会 堅田豊

東北支部第 50 回通常総会

東北支部第 50 回通常総会は、平成 14 年 6 月 10 日（月）午後 3 時 30 分よりホテル仙台プラザ（仙台市青葉区本町）において、本部から玉光弘明会長、藤枝企画部長、竹内経理課長、建設機械化研究所・江本平研究第 4 部長のほか支部の顧問、評議員等多数を迎えて開催された。

総会は斎事務局長が司会を務め岸野佑次東北支部長と玉光弘明本部会長から挨拶があつて始まった。

支部規程に従って、岸野佑次支部長が議長となり、書記に（株）植崎製作所仙台営業所・高木昭洋氏、日本自動機工（株）東北営業所・葛西堯氏を任命した。

斎事務局長、本会の出席団体会員は 177 社のうち 163 社（うち委任状 84 社）あり、団体会員の 1/2 以上の出席があつて定款第 14 条によって本総会が成立するとの宣言があつた。

議長は議事録署名人に、コマツ宮城

（株）代表取締役社長・根本健二氏、（株）栗本鐵工所東北支社長・蔵本浩次氏を指名して議事に入った。

議事は議長の岸野佑次支部長により以下によりすすめられた。

議長は第 1 号議案「平成 13 年度事業報告承認の件」について、その趣旨を遠藤糸企画部会長に報告させ、承認の可否を諮ったところ異議なく承認された。

議長は第 2 号議案「平成 13 年度決算報告書承認の件」について、決算内容を斎事務局長に報告させたのち、庄子和夫会計監事から会計監査報告があつて、承認の可否を諮ったところ異議なく承認された。

議長は第 3 号議案「平成 14・15 年度役員改選に関する件」について、役員改選を行う旨を告げ、その候補者選出の経過を遠藤糸企画部会長に報告させたのち、5 月 9 日の運営委員会における推薦され

た候補者名簿により選任してよいかを諮ったところ異議なく承認された。

議長は第 4 号議案「平成 14 年度事業計画に関する件」について、その趣旨を遠藤糸企画部会長に報告させ、承認の可否を諮ったところ原案どおり承認可決された。

議長は第 5 号議案「平成 14 年度予算に関する件」について、斎事務局長に報告させ、承認の可否を諮ったところ原案どおり承認可決された。

次いで本部藤枝英男企画部長から、協会本部の平成 13 年度事業成果と平成 14 年度事業計画の要点の説明があり審議等を終了した。

なお、通常総会で行われる功労者表彰等は、支部創立 50 周年記念式典で行われる事になり、総会はこれをもって終了した。

平成 14・15 度東北支部運営委員及び会計監事・評議員・参与等

運営委員・会計監事 (順不同)

支部長 岸野佑次 東北大学大学院工学研究科教授
副支部長

開発澄夫 東北電力(株)理事土木建築部長
中洞好博 鹿島建設(株)常務取締役東北支店長
内藤博 日立建機(株)東北支社長
運営委員 佐藤哲明 東北電力(株)土木建築部副

部長
山本和庸 川崎重工業(株)東北支社長
歌川和夫 (株)日立製作所東北支社長
蔵本浩次 (株)栗本鐵工所東北支店長
古野治 コマツ東北エリヤオフィスエリアマネージャ
渡部芳明 (株)新潟鉄工所東北支店長

支部便り

原田宣弘 日立造船(株)東北支社長
 河野尚久 三井造船(株)東北支社長
 石丸賢二 (株)神戸製鋼所東北支店長
 沼倉悠 三菱重工業(株)東北支社長
 本多郁夫 石川島播磨重工業(株)理事
 東北支社長
 竹内完爾 (株)間組執行役員東北支店長
 板屋欣治 板谷建設(株)取締役社長
 伊藤徳雄 (合名)伊藤組代表社員
 古林徹 大成建設(株)常務役員東北支店長
 大坂憲一 (株)大坂組代表取締役社長

内田賀春 日本鋪道(株)常務取締役東北支店長
 佐藤勝三 佐藤工業(株)取締役社長
 吉住英一 清水建設(株)東北支店長
 熊谷繁 (株)大林組常務取締役東北支店長
 和田繁 前田建設工業(株)東北支店長
 升川修 升川建設(株)取締役社長
 阿部正善 西松建設(株)常務取締役東北支店長
 菊谷誠 東北建設機械販売(株)代表取締役社長

萬光範一 宮城いすゞ自動車(株)代表取締役
 根本健二 コマツ宮城(株)代表取締役社長
 坂元啓助 カワサキマシンシステムズ(株)東北支社長
 石井嘉一 東北グレーダー(株)代表取締役
 会計監事
 草野邦雄 (株)奥村組取締役東北支店長
 庄予和夫 東北TCM(株)代表取締役

顧問 (順不同)

福田正 宮城大学学長(元東北支部長)
 柳澤栄司 八戸工業高等専門学校長(前東北支部長)
 斎藤進 宮城県土木部長
 山元隆 青森県県土整備部長

越後谷康作 秋田県建設交通部長
 猪股純 岩手県県土整備部長
 坂之井和之 山形県土木部長
 雨宮宏文 福島県土木部長
 加藤秀兵 仙台市建設局長
 金子恒夫 日本道路公団東北支社長
 三浦尚 (社)土木学会東北支部長
 飯田廣臣 日本鉄道建設公団盛岡支社長

中洞好博 (社)日本土木工業協会東北支部長
 内田賀春 (社)日本道路建設業協会東北支部長
 奥田和男 (社)宮城県建設業協会会长
 水本忠明 元東北部副支部長
 千田壽一 東北電力(株)顧問(元東北支部副支部長)
 吉田浩三 前東北部副支部長

評議員 (順不同)

代表評議員
 光家康夫 東北地方整備局道路部長
 評議員
 高橋弘 東北大学大学院工学研究科助教授
 尾崎正明 東北地方整備局青森工事事務所長
 中村敏一 東北地方整備局岩手工事事務所長

野中宏 東北地方整備局秋田工事事務所長
 岡崎新太郎 東北地方整備局仙台工事事務所長
 安田吾郎 東北地方整備局山形工事事務所長
 上坂克巳 東北地方整備局福島工事事務所長
 鳴海繁実 東北地方整備局東北技術事務所長
 三津山恭弘 日本道路公団東北支社建設部長

岩田久志 日本道路公団東北支社保全部長
 大槻善男 宮城県土木部道路管理課長
 葛西憲之 青森県県土整備部道路課長
 中山敏夫 秋田県建設交通部道路環境課長
 浅沼英美 岩手県県土整備部道路環境課長
 高橋浩司 山形県土木部交通基盤課
 江口昭一 福島県土木部道路維持課長

参与 (順不同)

佐久間博信 元機械部会長

小坂金雄 元建設部会長
 宮本藤友 元除雪部会長
 相澤實 元企画部会長
 栗原宗雄 前事務局長

赤坂富雄 前除雪部会長
 今野學 前企画部会委員
 一條一雄 前機械第二部会長

部会長 (順不同)

企画部会長 遠藤糸
 広報部会長 丹野光正

機械第一部会長 桜井俊和
 機械第二部会長 深堀哲男
 除雪部会長 山崎晃
 建設部会長 三浦吉美

災害対策機械部会長
 岩本忠和

北陸支部第40回通常総会

北陸支部第40回通常総会は平成14年6月26日(水)午後2時より新潟東映ホテルにおいて、本部から玉光弘明会長、中澤秀吉調査部長、建設機械化研究所・松尾和巳技術部長を、また来賓として横

塙尚志北陸地方整備局長を迎えて開催した。

司会者(倉島冠総務副委員長)の開会の辞、和田惇支部長の挨拶の後、議長には支部規程第13条に基づき和田支部長

が就任し、書記に野村宗達氏及び佐藤治明氏を任命した。引き続き三日月事務局長が総会宣言を行った(団体会員258社のうち出席者226名(うち委任状出席者87名)で団体会員の1/2以上が出席し

支部便り

ているので支部規程第14条により本総会は成立した)。議事録署名人の選任は、議長に一任され、(株)日本除雪機製作所の稻村正弘氏と北陸パブリックメンテナントス(株)の丸山幹雄氏の両氏を、和田議長が指名し議事の審議に移った。

和田議長は第1号議案及び第2号議案を一括上程し、「平成13年度事業報告」を中森良次企画委員長に、「平成13年度決算報告」を三日月事務局長に報告させた。次いで会計監査結果について、会計監事の代理として敦井産業(株)の安達孝志氏から本年4月16日に実施した会計監査の結果、公正妥当であり事実と相違なく、また諸財産の管理も適正であった旨報告された。以上の報告に基づき、和田議長は第1号議案及び第2号議案について質問、意見を求めたところ異議はなく承認された。

和田議長は第3号議案「任期満了に伴う役員改選に関する件」を上程し、この選出方策について諮ったところ議長に一

任せられたので、平成14~15年度役員候補者名簿案により選任してよいか諮ったところ異議はなく承認された。

新役員により支部長、副支部長選任の運営委員会開催のため総会は一時休会とした。総会再開後、和田議長は、運営委員会の仮議長を務めた喜綿洋二運営委員に運営委員会の審議について報告をお願いした。喜綿運営委員は、支部長、副委員長とも再任された旨報告がなされた。また、相談役、顧問、参与、評議員については別紙のとおり選任されたことを報告した。

和田議長は第4号議案及び第5号議案を一括上程し、「平成14年度事業計画(案)」を中森企画委員長に、「平成14年度収支予算(案)」を三日月事務局長に説明させ、質問、意見を求めたところ異議はなく、原案どおり承認された。

次いで本部及び建設機械化研究所の事業説明を行った。最初に本部の平成13年度事業報告と平成14年度事業計画を

中澤秀吉調査部長が、統いて、建設機械化研究所の事業説明を松尾和巳技術部長が行った。

以上で議事を終了し、和田議長は本部会長及び会員に対して北陸支部の運営について今後もご支援をお願いして議長を退き、3時15分に第40回通常総会を終了した。

総会に引き続き創立40周年を記念して記念式典を挙行した。来賓として横塚尚志北陸地方整備局長、玉光弘明会長よりご祝辞を賜り、次いで優良運転員・整備員及び北陸支部事業功労者の表彰を行った。優良運転員8名、優良整備員5名、個人功労者24名、団体会員功労社161社の方々に対し感謝状と記念品を贈呈した後、記念撮影を行って記念式典を終了した。創立40周年を記念して(株)岩の原葡萄園取締役社長・萩原健一氏から「川上善兵衛の活躍とワインづくり」と題して講演を行った。

平成14年度北陸支部運営委員及び会計監事、評議員・相談役・顧問・部会長等

運営委員および会計監事 (順不同)

支 部 長	
和 田 悼	(社)北陸建設弘済会理事長
副 支 部 長	
和 泉 裕	コマツ新潟(株)代表取締役社長
運 営 委 員	
林 一	石川島播磨重工業(株)新潟営業所長
山 東 晃	(株)大林組北陸支店長
徳 田 尚 志	鹿島建設(株)北陸支店常務取締役北陸支店長
加賀田 亮 一	(株)加賀田組代表取締役社長
北 川 義 信	北川ヒューテック(株)取締

相 談 役

顧 問 (順不同)

土 山 和 夫	新潟県土木部長
森 岡 秀 哲	富山県土木部長

役社長	
町 屋 修 司	コベルコ建機関東(株)新潟支店長
小 倉 勝 彦	大成建設(株)北信越支店執行役員支店長
網 野 宗 弘	日本道路(株)北信越支店長
喜 綿 洋 二	日本舗道(株)北信越支店長
鎌 倉 栄 一	(株)新潟鐵工所新潟構機工場長
嶋 倉 幸 夫	林建設工業(株)代表取締役社長
杉 谷 一 男	日立建機(株)新潟支店長
福 田 實 (株)	福田組代表取締役社長
後 藤 賢 司	福田道路(株)取締役新潟本店長
佐 藤 修 二	北陸キャタピラー三菱建機販売(株)代表取締役

福 田 正	(株)福田組代表取締役会長 (前)(社)日本建設機械化協会北陸支部長
-------	---------------------------------------

福 本 俊 明	石川県土木部長
森 俊 雄	日本道路公団北陸支社長
大 川 秀 雄	新潟大学工学部教授
阿 部 雅 二 朗	長岡技術科学大学機械系助教授

田 中 政 則	北越工業(株)取締役製造部長
本 間 達 郎	(株)本間組代表取締役社長
田 口 神 酒 雄	前田建設工業(株)北陸支店長
真 柄 敏 郎	真柄建設(株)取締役社長
五十嵐 武	(株)興和代表取締役
諸 橋 通 夫	(株)アドヴァンス代表取締役社長
高 山 俊 一	(株)日の出自動車代表取締役
会 計 監 事	
敦 井 荣 一	敦井産業(株)代表取締役社長
岩 堀 恒 夫	東急建設(株)北陸支店長

福 田 実 (社)	新潟県建設業協会会長
林 實 賀 (社)	富山県建設業協会会長

支部便り

参 与 (順不同)

(株)新潟日報社
(株)日刊工業新聞社新潟支局
新潟建設工業新聞社
(有)北陸建設工業新聞社

(株)北日本新聞社
中部建設新聞社
富山新聞社
(株)北國新聞社

評 議 員 (順不同)

的 場 純 一 国土交通省北陸地方整備局企画部長
関 克 己 国土交通省北陸地方整備局河川部長
福 田 晴 耕 国土交通省北陸地方整備局道路部長
和 泉 恵 之 国土交通省信濃川下流工事

事務所長
石 川 雄 一 國土交通省新潟国道工事事務所長
久保田 勝 國土交通省富山工事事務所長
神 長 耕 二 國土交通省金沢工事事務所長
柳沢 今朝次郎 國土交通省北陸技術事務所長
渡 辺 嶽 新潟県土木部道路維持課長

植 木 昭 一 新潟県土木部技術管理課長
本 田 孝 夫 富山県土木部企画用地課長
本 吉 一 寛 石川県土木部技術管理課長
小 林 行 夫 日本道路公団北陸支社建設部長
関 博 (財)先端建設技術センター新潟センター長
永 田 伸 之 (社)雪センター北陸支部長

中部支部第 45 回通常総会

中部支部第 45 回通常総会は、平成 14 年 6 月 7 日午後 3 時より名古屋の中日パレスにおいて、本部から長尾満名誉会長、岡崎治義専務理事、宮口正夫技術部長、猪熊紀之建設機械化研究所技術部長を迎えて開催された。

定刻、梅田事務局長の開会の辞に始まり、土屋功一支部長の挨拶、続いて玉光弘明会長の挨拶（代読）をいただいた。

支部規程により土屋功一支部長が議長席につき議事の審議に先立ち余語学（豊国工業（株））、山田信夫（株）コミヤマ工業）の両氏を書記に任命、次いで梅田事務局長から、本日の総会は支部団体会員 223 社のうち出席 203 社（うち書面表決 57 社）で団体会員の過半数の出席があったので、支部規程により成立した旨の宣言があった。

土屋議長は議事録署名人の選任にあたり選出方法を諮り、議長一任と決まった

ので、西田豊（（株）間組）、安江規尉（（株）荏原製作所）の両氏を指名した後、議事の審議に入った。

第 1 号議案「平成 13 年度事業報告承認の件」及び第 2 号議案「平成 13 年度決算報告承認の件」は梅田事務局長からそれぞれ資料に基づき説明が行われ、決算報告については山口義一会計監事から監査の結果は公正妥当であった旨報告が行われ両議案とも異議なく承認された。次に第 3 号議案「任期満了に伴う運営委員、会計監事選任に関する件」が上程され運営委員、会計監事の選出が行われ総会は小憩に入った。この間別室において運営委員会が開催され再開後の総会において運営委員会の決定事項について梅田事務局長が報告した。すなわち、支部長に土屋功一氏、副支部長には鈴木徳行氏、古瀬紀之氏、服部桂氏が選任されたほか、顧問、参与、評議員、各部会長、副部会

長、部会委員が別冊名簿とのおり委嘱された旨の報告があった。続いて土屋功一支部長の就任の挨拶があり全員拍手をもってこれに応えた。

次に第 4 号議案「平成 14 年度事業計画に関する件」及び第 5 号議案「平成 14 年度収支予算に関する件」について梅田事務局長からそれぞれ説明が行われ、異議なく原案どおり承認された。以上で議案の審議を終了し引続き本部の事業概要報告に移り本部の宮口正夫技術部長、続いて建設機械化研究所の事業概要報告が猪熊紀之技術部長から行われた。

次に同会場において建設機械優良技術員の表彰式が行われ表彰者 17 名に対して会場から盛大な拍手が送られた。

梅田事務局長から閉会の辞があり午後 5 時総会は終了した。

この後別会場において懇親会が行われ 7 時頃盛会のうちに終了した。

平成 14 年度中部支部運営委員および会計監事・顧問・参与・評議員・部会長等

名譽支部長

八 田 晃 夫 玉野総合コンサルタント
(株)取締役相談役

運営委員および会計監事 (順不同)

支 部 長
土 屋 功 一 名工建設(株)取締役副社長

副 支 部 長

鈴 木 徳 行 名城大学教授
古 濑 紀 之 大有建設(株)専務取締役
服 部 桂 日本車輪製造(株)取締役機電本部長

運 営 委 員

大 根 義 男 愛知工業大学教授
畠 山 昭 愛知日野自動車(株)常務取締役
柳 富士弥 イズミ建設コンサルタント

支部便り //

(株)名古屋事務所長
古谷野 征雄 (株)荏原製作所中部支社長
中野 征助 鹿島建設(株)常務取締役名古屋支店長
坪井 勝 (株)クボタ中部支社長
吉田 孝男 (株)熊谷組取締役名古屋支店長
金谷 正起 (株)小松製作所中部エリアオフィスエリアマネージャー
池内 平 コベルコ建機中部(株)代表取締役社長
八田 尚武 佐藤工業(株)専務執行役員名古屋支店長
笠 美喜夫 住友重機建機クリーン(株)取締役名古屋工場長
西岡 正 大日本土木(株)顧問

大西 義裕 中部電力(株)土木建築部計画技術グループ副長
白村 晋 中部復建(株)代表取締役社長
富谷 雄 (社)中部建設協会専務理事
上杉 良美 (株)電業社機械製作所名古屋支店長
岡田 休光 東海キャタピラー三菱建機販売(株)取締役社長
小川 敏治 徳倉建設(株)常務取締役
前田 武雄 中日本建設コンサルタント(株)顧問
植下 協名古屋大学名誉教授
竹内 直彦 西松建設(株)取締役中部支店長
福田 弘 日本舗道(株)常務取締役中

山崎 邸二 部支店長
(株)間組執行役員名古屋支店長
萩谷 秀信 日立建機(株)中部支社長
竹内 治夫 水野建設(株)常務取締役
戸谷 研一郎 三菱重工業(株)中部支社長
尾関 宏一 矢作建設工業(株)専務取締役
岩崎 博臣 元運営委員・技術部会長
会計監事
山口 義一 阪神動力機械(株)名古屋営業所長
山田 喜一郎 川崎重工業(株)中部支社営業課長代理

顧問 (順不同)

顧問
清治 真人 國土交通省中部地方整備局
局長
馬場 直俊 愛知県建設部長
松木 勝 愛知県農林水産部理事

鈴木 治 岐阜県基盤整備部建設管理
局長
山口 修 静岡県土木部長
吉兼 秀典 三重県県土整備部長
奥村 允胤 名古屋市緑政土木局長
平子 魁人 名古屋市上下水道局長
山本 邦夫 名古屋高速道路公社副理事
長

大本 家正 水資源開発公団中部支社副
支社長
菅原 勝広 日本道路公团中部支社副支
社長
川口 康廣 日本鉄道建設公團名古屋建
設局長
染谷 昭夫 名古屋港管理組合副管理者

参与 (順不同)

社団法人愛知県建設業協会
社団法人岐阜県建設業協会
社団法人静岡県建設業協会
社団法人三重県建設業協会

社団法人日本土木工業協会中部支部
社団法人日本道路建設業協会中部支部
社団法人全国建設機械器具リース業協会中部
支部
社団法人建設コンサルタント協会中部支部
(株)建通新聞社中部支社
日刊建設経済新聞社

日刊建設工業新聞社名古屋支社
日刊建設産業新聞社中部支局
日刊建設通信新聞社中部支社
日刊工業新聞社名古屋支社
中部経済新聞社

評議員 (順不同)

代表評議員
廣瀬 輝 国土交通省中部地方整備局
道路部長
評議員
柳川城二 国土交通省中部地方整備局
企画部長
片平和夫 国土交通省中部地方整備局
河川部長
杉山 稔 国土交通省中部地方整備局
企画部技術調整管理官
寺元博昭 国土交通省中部地方整備局

永田 健 道路部道路調査官
国土交通省岐阜国道工事事務所長
小林 稔 国土交通省庄内川工事事務所長
所輝雄 国土交通省名古屋国道工事事務所長
藤田光一 国土交通省三重工事事務所長
安陪和雄 国土交通省中部技術事務所長
引田重失 防衛施設庁名古屋防衛施設支局土木課長
竹内熙光 愛知県建設部技術管理監

赤坂靖正 名古屋市緑政土木局技術指
導課長
丸井国治 名古屋高速道路公社公務部
長
柴田清 日本道路公团中部支社建設
第二部長
大澤賢修 水資源開発公団中部支社建
設部長
北洞尚志 名古屋港管理組合建設部長
宮池克人 中部電力(株)取締役土木建
築部長
宮武一郎 国土交通省中部地方整備局
道路部機械課長

部会長及び副部会長
(順不同)
企画部会長
五嶋政美

同副部会長
尾関宏一
阪井則行
広報部会長
石丸俊明

同副部会長
西脇恒夫
安江規尉
技術部会長
杉本彰男

同副部会長
田中晴之
安藤利剛
調査部会長
尾関宏一

同副部会長
高橋和夫
施工部会長
仙道幸彦
同副部会長
田中晴之

災害対策部会
西郷芳晴
同副部会長
対木宏志

支部便り

関西支部第 53 回通常総会

関西支部第 53 回通常総会は、平成 14 年 6 月 4 日午後 2 時 00 分、本部の岡崎専務理事、中総務部部長、土見企画部係長、建設機械化研究所・長副技師長、支部側は高野浩二支部長はじめ評議員、顧問、参与、運営委員、会計監事、部会役付者、団体会員等出席者総勢 151 名で開催された。

定刻、司会者・高津企画部会代表幹事の開会の辞に統いて、高野支部長と玉光会長（岡崎専務理事代読）の挨拶が行われた。支部規程第 13 条の定めにより高野支部長が議長となり瀧谷事務局長を書記に任命、高津企画代表幹事から本日の団体会員の出席は 137 社（内委任状 67 社）で団体会員数 195 社の過半数が出席しているので、本総会は成立した旨の宣言があり、議事録署名人の選任は議長に一任され、議長は淀川変圧器（株）・木村統一、日立建機（株）・五十嵐孝平、両氏を指名し、議事に入った。

第 1 号議案「平成 13 年度事業報告の件」は高津企画部会代表幹事から、第 2 号議案「平成 13 年度決算報告の件」は瀧谷事務局長からそれぞれ議長の命により資料に基づき説明が行われ、岡本会計監事から会計監査の結果、公正妥当と認めた旨の報告があり両議案とも異議なく承認された。

第 3 号議案「任期満了に伴う運営委員・会計監事選任に関する件」は、高野議長から、団体会員各位により「平成 14・15 年度運営委員候補者名簿」とおり推薦された旨承認を求めたところ、異議なく承認された。

第 4 号議案「平成 14 年度事業計画に関する件」について、堀内企画部会代表幹事から資料に基づき説明が行われ異議なく承認された。第 5 号議案「平成 14 年度予算に関する件」については、瀧谷事務局長が、資料に基づき説明した結果、原案どおり承認された。

続いて、中総務部部長より本部事業の概要報告として、本部の平成 13 年度事業報告及び平成 14 年度事業計画に基づき要点が説明された。

建設機械化研究所・長副技師長より建設機械化研究所事業の概要報告として、平成 13 年度事業報告及び平成 14 年度事業計画に基づき要点が説明された。

恒例の建設機械優良運転員・整備員の表彰式を行い午後 3 時 40 分、堀内企画部会代表幹事の閉会の辞をもって総会は無事終了した。

総会に引き続き、藤井妙法氏による「成功の哲学—プラス思考で生きよう」の演題での講演会を開催し、親睦会に移った。来賓としてご出席の近畿地方整備局長・鈴木藤一郎氏からご挨拶をいただいたのち、なごやかな雰囲気で親睦会を深め午後 7 時盛会のうちに散会した。

平成 14 年度関西支部運営委員及び会計監事・評議員・顧問・参与・部会長等

運営委員および会計監事

（順不同）

支 部 長
高 野 浩 二 (株)建設技術研究所顧問
副 支 部 長
深 川 良 一 立命館大学理工学部建設環境学系土木工学科教授
田 宮 芳 彦 大林組専務取締役
溝 口 孝 達 コベルコ建機（株）顧問執行役員
運 営 委 員
牧 浦 信 一 日本道路公团関西支社建設第一部長
高 瀬 範 佳 日本鉄道建設公團大阪支社調査課長
鈴 木 秀 利 水資源開発公團関西支社建設部長
藤 井 周 志 本州四国連絡橋公團第一管理局保全部長
石 崎 浩 阪神高速道路公團工務部工務第一課長
吉 津 洋 一 関西電力（株）土木建築室水力開発グループチーフマネージャー
下 岸 孝 一 (社)大阪建設業協会業務部長
笠 木 治 弥 石川島播磨重工業（株）関西

出 口 正 義 川崎重工業（株）鉄構ビジネスセンター技監
安 部 保 博 (株)栗本鐵工所鉄構事業部技師長
越 原 良 忠 (株)コシハラ取締役社長
池 田 敬 コマツ大阪エアリオオフィスエリアマネージャー
竹 内 紀 行 新キャタピラー三菱（株）明石事業所商品サービス部長
石 原 洪 三 (株)酉島製作所公共営業部技監
名 竹 利 行 日立建機（株）関西支社長
谷 口 肇 日立造船（株）鉄構・建機事業本部顧問
山 口 浩 二 松尾橋梁（株）常務執行役員
江 戸 宗 夫 三井造船（株）理事関西支社長
藤 田 国 彦 三菱重工業（株）関西支社長
金 子 芳 久 (株)エスシー・マシナリ大阪機械センター所長
井 手 龍 介 (株)奥村組関西支社機械部長
麻 生 憲 二 郎 (株)熊谷組関西支社施工設備部長
鶴 留 久 夫 (株)鴻池組本社管理本部安全環境業務部業務課長
西 川 保 彦 大成建設（株）安全・環境部

部 長
東 藤 隆 義 (株)竹中工務店西日本機材センター・計画担当副部長
杉 本 正 西松建設（株）関西支店次長
仙 波 啓 一 前田建設工業（株）土木部副部長（機電担当）
中 川 壱 二 郎 近畿キャタピラーミツビシ建機販売（株）常務取締役営業部長
大 賀 寿 二 大淀小松（株）常務取締役事業部長
藤 田 和 久 (株)アクティオ関西統括支店次長
岩 崎 滋 (株)サンテック代表取締役社長
澤 田 進 西尾レントオール（株）専務取締役大阪支店長
木 村 統 一 淀川変圧器（株）代表取締役社長
鈴 木 達 彦 近畿技術コンサルタンツ（株）代表取締役社長
会 計 監 事
岡 本 哲 裁 鹿島建設（株）関西支店機材部長
高 津 敏 夫 (株)クボタポンプ事業部部長

支部便り //

評議員 (順不同)

佐野正道 近畿地方整備局企画部長
坪香伸 近畿地方整備局河川部長
松下敏郎 近畿地方整備局道路部長
森山敏雄 近畿地方整備局技術調整官

理官
宮本博司 近畿地方整備局淀川工事事務所長
瀬戸馨 近畿地方整備局大阪国道工事事務所長
村松敏光 近畿地方整備局近畿技術事務所長

渡辺昭 近畿地方整備局道路部機械課長
丸岡耕平 大阪府土木部交通道路室長
中山洋介 大阪市建設局管理部土木設備担当課長
高田邦彦 (財)日本建設情報総合センター

顧問 (順不同)

田村恒一 大阪府土木部長
末吉徹 大阪府環境農林水産部長
山口昇 兵庫県国土整備部長
北原昭夫 兵庫県農林水産部長
南哲行 奈良県土木部長
増井勲 奈良県農林部長
大山耕二 和歌山県土木部長
辻健 健 和歌山県農林水産部長
栗原秀人 滋賀県土木交通部長

浅田博之 滋賀県農政水産部長
古川巖水 福井県土木部長
牧野嘉範 福井県農林水産部長
湊勝比古 大阪市建設局長
五十嵐英男 大阪市港湾局長
野嶋久暉 京都市建設局長
安藤嘉茂 神戸市建設局長
竹山征治 神戸市みなと総局技術本部長
藤下久 日本道路公団関西支社長
大志万和也 阪神高速道路公団審議役
北川信 本州四国連絡橋公团第一管

理局長
伊藤涉 水資源開発公団関西支社長
吉川大三 日本鉄道建設公団大阪支社長
山口登 日本下水道事業団大阪支社長
鴻池一季 大阪建設業協会会长
松本正毅 関西電力(株)土木建築室土木部長
斎藤義治 元本支部理事
小蒲康雄 元本支部副支部長
新開節治 元本支部幹事長

参与 (順不同)

社団法人土木学会関西支部
社団法人日本機械学会関西支部
社団法人地盤工学会関西支部

社団法人日本土木工業協会関西支部
社団法人日本電機工業会大阪支部
建設業労働災害防止協会大阪府支部
社団法人滋賀県建設業協会
社団法人京都府建設業協会
社団法人兵庫県建設業協会

社団法人奈良県建設業協会
社団法人和歌山県建設業協会
社団法人福井県建設業連合会
社団法人日本基礎建設協会関西支部

部会長・幹事長 (敬称略)

企画部会
部会長 渡辺昭
同代表幹事 堀内憲
広報部会

部会長名 竹利行
同幹事長 藤目正敏
技術部会
部会長 森山敏雄
同幹事長 渡辺昭
建設業部会
部会長 岡本哲哉

同幹事長 原田哲夫
整備サービス業部会
部会長 富永丈二
リース・レンタル業部会
部会長 木村統一
同幹事長 岩崎滋

中国支部第 51 回通常総会開催

社団法人日本建設機械化協会中国支部の第 51 回通常総会は、平成 13 年 6 月 6 日午後 1 時から、リーガロイヤルホテル広島において開催された。

本部より玉光会長をはじめ評議員、顧問、参与、団体会員等、総数 182 名の出席があった。

佐々木支部長の挨拶につづき、第 1 号議案平成 13 年度事業報告は小笠原企画部会長から、第 2 号議案平成 13 年度決算報告は中井事務局長からそれぞれ報告

が行われ、平野会計監事から会計監査の結果、公正妥当の旨報告があつて両議案とも異議なく承認された。

第 3 号議案任期満了に伴う運営委員および会計幹事選任については、候補者名簿のとおり選任され総会を休憩して別室での運営委員会で、支部長、副支部長の選任が行われたほか、評議員、顧問、参与の推薦、部会役付者の委嘱、部会幹事の任命等が行われた。

再開された総会で、運営委員会での議

決内容が報告された後、第 4 号議案平成 14 年度事業計画は小笠原企画部会長から、第 5 号議案平成 14 年度収支予算是中井事務局長からそれぞれ説明があり、いずれも原案どおり承認可決された。

続いて、本部事業概要について佐々木業務部長、建設機械化研究所・長技師長から報告があり、午後 2 時 15 分総会は終了した。

平成 14 年度中国支部運営委員及び会計幹事・評議員・顧問・参与・部会長等

名誉支部長

綱干壽夫 広島大学名誉教授

支部便り

運営委員および会計監事 (順不同)

支 部 長
佐々木 康 広島大学大学院工学研究科
社会環境システム専攻教授

副支 部 長
佐々木 輝 夫 豊國工業(株)広島営業所営業推進部長

塚 井 直 樹 中国電力(株)理事土木部長

運 営 委 員
青 木 實 晴 開発塗装工事(株)常務取締役広島営業所長

天 羽 良 一 (株)鴻池組広島支店長

池 端 登 鹿島建設(株)取締役広島支店長

井 上 準 康 洋林建設(株)広島支店駐在参与

上 野 弘 文 広島日野自動車(株)代表取締役社長

畠 本 勝 彦 (株)奥村組取締役広島支店長

江 藤 隆 男 本州四国連絡橋公団第三管理局保全部長

大 西 良 昭 三菱重工業(株)中国支社長

岡 田 修 治 (株)加藤製作所中国支店長

奥 玲 三 郎 日立建機(株)西日本支社中國支店長

奥 山 洋 三 中国キャタピラー三菱建機販売(株)取締役社長

神 崎 照 之 清水建設(株)執行役員広島

支店長
北 村 展 之 コベルコ建機西日本(株)中國支社長

久 保 博 司 大成建設(株)執行役員広島支店長

黒 田 清 和 コベルコ建機(株)執行役員ショベル生産本部長

桑 江 康 一 川崎重工業(株)中国支社長

桑 田 哲 彦 中外企業(株)代表取締役社長

小石原 賢 一 前田道路(株)中国支店長

後 藤 泰 雄 ヤンマー中四国(株)代表取締役

近 藤 昇 アイサワ工業(株)広島支店長

齊 藤 靖 彦 三井建設(株)執行役員広島支店長

佐久間 良 知 (株)シーケイ・テック代表取締役

佐々木 英 二 (株)大本組広島支店長

佐 藤 博 樹 日本鍛道(株)取締役中国統括支店長

佐 藤 徳 行 (株)クボタ中国支社長

澤 田 武 義 (株)フジタ取締役広島支店長

清 水 英 二 (株)増岡組専務取締役広島本店長

庄 島 弘 明 住友建機販売(株)中四国統括部長

白 井 忠 夫 小松建設工業(株)広島支店副支店長

吉 田 和 男 宝物産(株)取締役会長

武 田 豊 前田建設工業(株)中国支店長

田 邊 博 彦 マツダアステック(株)専務取締役営業本部長

仲 野 欣 迂 (株)ガイアートクマガイ執行役員中国支店長

中 村 豪 二 (社)中国建設弘済会理事長

平 野 清 治 (株)大和エンジニアリング取締役営業部長

福 岡 祥 光 広成建設(株)代表取締役社長

船 本 隆 則 (株)熊谷組執行役員広島支店長

古 荘 昭 恵 (株)大林組取締役広島支店長

松 本 幸 知 (株)日立製作所中国支社長

御 堂 河 内 節 生 建設機械運営工事(株)代表取締役

村 重 芳 雄 五洋建設(株)常務取締役中國支店長

村 松 政 彦 石川島播磨重工業(株)中国支社長

安 田 武 彦 (株)ヒロコン常務取締役

山 中 進 コマツ中国(株)代表取締役

若 林 直 飛島建設(株)広島支店長

会 計 監 事
前 田 洋 一 西田鉄工(株)営業本部企画部長(広島駐在)

宮 岡 諭 コベルコ建機エンジニアリング(株)取締役社長

評議員 (順不同)

代表評議員
渡 口 潔 國土交通省中国地方整備局道路部長

評議員
田 中 雅 次 國土交通省中国地方整備局企画部技術調整管理官

岡 邦 彦 國土交通省中国地方整備局道路部道路調査官

大久保 尊 善 國土交通省中国地方整備局中国技術事務所長

小 坂 修 経済産業省中国経済産業局産業部製造産業課長

縫 部 勝 彌 広島県土木建築部技術管理室長

坂 牧 勉 日本道路公団中国支社建設

山 下 英 生 部長
広島大学地域共同研究センター長

船 本 隆 則 日本道路建設業協会中国支部長

羽 原 俊 行 (社)建設コンサルタント協会中国支部長

顧問 (順不同)

高 田 邦 彦 広島高速道路公社理事長

石 川 修 一 日本道路公団中国支社長

淵 田 政 信 本州四国連絡橋公団第三管理局長

木 山 英 郎 鳥取大学工学部長

阪 田 憲 次 岡山大学環境理工学部長

佐々木 博 司 広島大学工学部長

大 坂 英 雄 山口大学工学部長

前 田 八寿彦 鳥取県土整備部長

菅 原 信 二 島根県土木部長

山 中 義 之 岡山県土木部長

吉 野 清 文 広島県土木建築部長

中 崎 光 浩 山口県土木建築部長

池 上 義 信 広島市道路交通局長

夾 間 廉 (社)鳥取県建設業協会会長

都 間 隆 (社)島根県建設業協会会長

蜂 谷 勝 司 (社)岡山県建設業協会会長

檜 山 且 典 広島県建設工業協会会長

藤 本 宏 司 (社)山口県建設業協会会長

部会長・副部会長・幹事長等
(順不同)
企画部会長
小笠原 保
同副部会長
中井 登
同幹事長
森田 敏文

普及部会長
平野 清治
同副部会長
淀 修
同幹事長
田中 弘司

施工部会長
田中 和夫
同副部会長
河田 正義
同幹事長
近藤 政義

技術部会長
白井 忠夫
同副部会長
西田 信行
同幹事長
紺谷 正紀

開発部会長
増永 和彦
同副部会長
末宗 仁吉
同幹事長
石田 正和

支部便り //

四国支部第 28 回通常総会

四国支部の第 28 回通常総会は、平成 14 年 6 月 4 日（火）午後 3 時 30 分から高松市の「リーガホテルゼスト高松」において開催した。主務官庁の四国地方整備局から渡辺和弘道路調査官を、本部から中島英輔副会長（建設機械化研究所所長）及び森園隆行業務部係長を迎えた。支部側から室達朗支部長をはじめ澤田健吉名譽支部長、評議員、顧問、参与、運営委員、会計監事、各部会長、部会幹事並びに団体会員等総計 167 名が出席した。

定刻、角谷博常任運営委員（川崎重工業（株）鉄鋼事業部顧問）の開会の辞で開会し、室支部長の挨拶、会長の挨拶（中島英輔副会長代読）のあと、支部規程第 13 条により室支部長が議長となって、まず、安達公嗣氏（（株）安達組代表取締役）、井上敦夫氏（井上建設（株）代表取締役）を書記に任命した。次に室議長は、角谷博常任運営委員から本日の出席者が 199 社（うち委任状提出 78 社）で、団体会員数 228 社の過半数であるとの発表を受け、支部規程第 14 条により本総会は成立した旨宣言して、議事録署名人として三野容志郎（四国通商（株）代表取締役）、中村壽夫（中村土木（株）代表取締役）の両氏を推薦し、承認を得て議事に入った。

議長は、第 1 号議案「平成 13 年度事

業報告承認の件」を角谷博常任運営委員に資料に基づいて説明させ承認を求めたところ、満場異議がなく原案どおり承認された。

次に議長は、第 2 号議案「平成 13 年度決算報告承認の件」を須田道夫事務局長に資料に基づいて説明させ、高橋英雄会計監事から監査の結果適正に処理されていた旨の報告がなされたあと承認を求めたところ、満場異議なく原案どおり承認された。

次に議長は、支部規程第 7 条により運営委員および会計監事の任期は 2 年で、今回改選を行う旨を告げ、第 3 号議案「任期満了に伴う役員改選に関する件」を上程した。議事の進行上去る 5 月 14 日に開催した運営委員会において審議した候補者名簿により選出して良いかを諮ったところ満場異議がなく原案どおり可決された。ここで、支部長等の選出・任命等を行うため本会議を一時中断して別室で運営委員会が開催された。

再開後の総会において運営委員会の決定事項を竹内澄夫常任運営委員（（株）竹内建設代表取締役会長）が次のとおり報告し、承認を求めたところ満場異議がなく平成 14・15 年度の役員が承認された。

すなわち、支部長には室達朗愛媛大学工学部教授が、副支部長には武山正人四

国電力（株）取締役建設部長および山川健蔵（社）四国建設弘済会専務理事がそれ再任され、常任運営委員、名譽支部長、評議員、顧問、参与、部会長および部会幹事を名簿のとおり委嘱した。

次に議長は、第 4 号議案「平成 14 年度事業計画に関する件」を伊藤豪誠常任運営委員（（株）日立製作所公共営業本部主管技師）に、第 5 号議案「平成 14 年度収支予算に関する件」を須田道夫事務局長にそれぞれ資料に基づいて説明させ承認を求めたところ、いずれも満場異議がなく原案どおり可決承認され、本総会の議事が終了した。

引続いて、本部並びに建設機械化研究所の事業概要について、森園隆行本部業務部係長並びに中島英輔建設機械化研究所長から説明があった。それが終わると伊藤豪誠常任運営委員が本総会にご出席いただいた来賓並びに評議員の紹介を行ってと共に祝電を披露した。

続いて表彰式に移り、今年度の優良建設機械運転員 11 名、優良建設機械整備員 2 名に室達朗支部長から表彰状と記念品が贈られ、武山正人副支部長から祝辞と激励の挨拶があったあと、伊藤豪誠常任運営委員の閉会の辞により閉会した。

5 時 15 分より別室で懇談会を挙行し、盛会のうちに終了することができた。

平成 14 年度四国支部運営委員・会計監事・評議員・部会長等

名譽支部長

澤田 健吉 徳島大学名譽教授

運営委員および会計監事

（順不同）

支 部 長	室 達 朗 愛媛大学工学部教授
副 支 部 長	武 山 正 人 四国電力（株）取締役建設部長
常任運営委員	山 川 健 蔵 （社）四国建設弘済会専務理事
	石 橋 直 西松建設（株）常務取締役四国支店長
	伊 藤 豪 誠 （株）日立製作所公共営業本部主管技師

大 橋 登 コマツ香川（株）代表取締役
北 島 宏 （株）タダノ執行役員常務
木 戸 真 人 鹿島建設（株）四国支店長
木 村 信 行 四国機器（株）代表取締役社長
竹 内 澄 夫 （株）竹内建設代表取締役会長
永 野 正 彦 四国建設機械販売（株）代表取締役社長
姫 野 勝 彦 （株）姫野組取締役専務
別 枝 修 四国電力（株）建設部次長
堀 田 洋 一 （株）奥村組取締役四国支店長
山 本 隆 日立建機（株）四国支店長

運 営 委 員	
赤 松 泰 宏 赤松土建（株）代表取締役社長	
安 達 公 則 （株）安達組代表取締役	
東 誠 協和道路（株）代表取締役	
井 筒 勝 彦 香川大学工学部助教授	
井 上 敦 夫 井上建設（株）代表取締役	
井 上 蔡 久 （株）一宮工務店代表取締役	
井 原 正 孝 井原工業（株）代表取締役社長	
岩 松 明 徳 コベルコ建機西日本（株）四国支店長	
吉 良 正 平 豚座建設（株）代表取締役社長	

支部便り

久保哲也 久保興業(株)代表取締役
 久保文夫 (株)二神組代表取締役社長
 坂本孝 (株)アルス製作所代表取締
 役社長
 田中恵三郎 (株)日立製作所四国支店長
 寺下均 大成建設(株)執行役員四国
 支店長
 中谷健 大旺建設(株)取締役会長
 中村壽夫 中村土木(株)代表取締役

野村裕司 (株)間組役員待遇四国支店
 長
 松本堯雄 (株)亀井組代表取締役社長
 松本義彦 香長建設(株)代表取締役社
 長
 丸浦典祐 丸浦工業(株)取締役社長
 三谷齊 入交建設(株)代表取締役
 三野容志郎 四国通商(株)代表取締役社
 長

村上五郎 村上工業(株)代表取締役
 望月秋利 徳島大学工学部教授
 吉崎勢治 吉崎建設(株)代表取締役
 会計監事
 中島弘 四電技術コンサルタント代
 表取締役専務
 高橋英雄 (株)ティーネットジャパン
 取締役副社長

評議員 (順不同)

代表評議員
 木下賢司 四国地方整備局道路部長

評議員
 渡辺和弘 四国地方整備局道路調査官
 長瀬秀雄 四国地方整備局香川工事事
 務所長
 藤田和博 四国地方整備局四国技術事
 務所長

佐々原豊 香川県土木部次長
 小山寛 日本道路公団四国支社建設
 部長
 森邦久 本州四国連絡橋公団第二管
 理局保全部長

顧問 (順不同)

河野清 放送大学徳島学習センター
 所長

池田孝司 (社)徳島県建設業協会会長
 富田文男 (社)香川県建設業協会会長
 浅田毅 (社)愛媛県建設業協会会長
 井上和水 (社)高知県建設業協会会長

参与 (順不同)

(社)地盤工学会四国支部

(社)土木学会四国支部
 (社)日本建築学会四国支部
 (社)日本機械学会中国四国支部
 建通新聞社四国支社

日刊建設工業新聞社四国総局
 日刊建設通信新聞社四国支局

部会長 (順不同)

企画部会長 小松修夫 施工部会長 井内上 技術部会長 小西憲昭

九州支部第46回通常総会

九州支部第46回通常総会は、平成14年6月7日(金)午後2時30分よりホテルニューオータニ博多において開催された。

本部から渡邊和夫副会長、三枝宏貴氏、村松恵子氏、研究所から江本平技術部長を迎える。支部は来賓の森勝彦国土交通省九州地方整備局道路調査官はじめ川崎迪一支部長、井田出海、麻生誠副支部長、評議員、顧問、運営委員、会計監事、部会長、団体会員等総数103名の出席があった。

定刻、相川亮企画委員長の開会の辞に始まり、川崎支部長および渡邊副会長挨拶の後、来賓の国土交通省九州地方整備局道路調査官・森勝彦氏より挨拶をいただいた。

支部規程第13条により川崎支部長が議長となり、辛島敬明氏と内田克巳氏を

書記に任命した。次いで相川企画委員長より支部団体会員182社のうち出席125社(うち書面表決46社)で団体会員総数の過半数の出席があったので、規程により成立した旨の宣言があった。川崎議長は、議事署名人の選任にあたり選出方法を諮り、議長一任と決まったので中島吉明(株)粟村製作所福岡営業所長、橋詰祥尚三井道路(株)九州支社執行役員支社長を指名して議事に入った。

議長は、第1号議案「平成13年度事業報告承認の件」および「平成13年度決算報告承認の件」を上程、相川企画委員と城ヶ崎事務局長にそれぞれ説明させ、次いで監査結果について報告を求めた。会計監事の柴田秀美東邦地下工機(株)営業部長より監査の結果は公正妥当であった旨の報告がなされ、満場異議なく原案どおり承認された。

次に議長は、第3号議案「任期満了に伴う運営委員等の改選に関する件」を上程し、議事の進行上、本件については去る4月18日開催の運営委員会における予備選考の結果作成した運営委員等候補者名簿(案)の通り運営委員等を推挙いただければ幸いである旨、賛否を求める案のとおり運営委員54名、会計監事2名が承認された。

次に、支部長選挙と副支部長互選のため、別室において運営委員会を開催した。(その間は本会議休憩)仮議長に鹿野浩利氏((株)粟本鉄工所九州支店顧問)を推薦した。鹿野仮議長のもと議が進められ、支部長には川崎迪一氏を副支部長には、麻生誠氏(筑豊製作所(株)社長)と井田出海氏((株)ミゾタ社長)をそれぞれ再任した。その後、支部長決定により川崎迪一氏が議長となり、坂梨宏名誉支

支部便り /

部長、評議員 8 名、顧問 12 名、参与 7 名、部会長 4 名を選任、企画委員長および企画委員 21 名を任命し運営委員会を開会した。

川崎議長は本会議の再開を宣し、運営委員会の決定事項を事務局に報告させ、承認を求め、異議なく承認された。

川崎支部長より就任の挨拶があり議事に移った。川崎議長は、第 4 号議案「平成 14 年度事業計画案に関する件」およ

び第 5 号議案「平成 14 年度収支予算案に関する件」を上程、相川企画委員長と城ヶ崎事務局長にそれぞれ説明させ、承認を求める異議なく承認された。

川崎議長は、案件の審議終了を告げ、長時間の審議を謝し全員拍手のうちに議長席を降りた。

引き続き本部の三枝氏と研究所の江本技術部長より、本部事業報告および事業計画と研究所業務の要点について報告がな

された。相川企画委員長の閉会の辞によつて、第 46 回通常総会は終了した。

総会に引き続き、国土交通省九州地方整備局技術調整管理官・藤並之生氏による「公共工事の執行に係わる最近の動向について」の特別講演を開催した。

次いで、平成 14 年度建設の機械化功劳者の表彰式を行った後、別室において懇親会を催し、盛会のうち終了することができた。

平成 14 年度九州支部運営委員及び会計監事・評議員・参与等

名誉支部長

坂 梨 宏 福岡大学名誉教授

運営委員及び会計監事 (順不同)

支 部 長

川 崎 迪 一 前九州支部顧問

副 支 部 長

麻 生 誠 (株)筑豊製作所代表取締役
社長

井 田 出 海 (株)ミゾタ代表取締役社長

運 営 委 員

衣 非 安 章 九州電力(株)土木部長

吉 原 浩 飯田建設(株)代表取締役社長

立 花 重 行 梅林建設(株)福岡支店営業部長

遠 藤 素 弘 (株)エスシーマシナリー九州機械センター所長

松 本 國 夫 (株)大林組常務取締役九州支店長

平 田 光 宏 鹿島建設(株)常務取締役九州支店長

佐 田 誠 (株)柿原組代表取締役社長

丸 山 幸 次 (株)熊谷組九州支店長

佐 藤 謙二助 (株)さとうベネック代表取締役社長

久 保 宏 佐藤工業(株)執行役員九州支店長

村 上 俊 明 山九(株)建設本部福岡建設支店長

志 多 宏 彦 (株)志多組代表取締役社長

竹 岡 伸一郎 住友建設(株)執行役員九州支店長

久 間 忠 勝 大成建設(株)執行役員九州

支 店 長

加 納 光 正 (株)竹中土木九州支店長
藤 本 健 一 鉄建建設(株)取締役九州支店長
有 吉 隆 碩 西松建設(株)九州支店長
山 口 宣 男 日本道路(株)九州支店長
坂 上 憲 治 郎 (株)間組九州支店長
田 代 徹 (株)フジタ執行役員九州支店長
赤 島 正 晃 前田建設工業(株)執行役員九州支店長
松 尾 幹 夫 松尾建設(株)代表取締役社長
歲 田 正 夫 丸紅建設(株)専務取締役九州支店長
坂 口 修 三井建設(株)九州支店長
廣 川 和 夫 三菱建設(株)九州支店長
西 川 貞 紀 矢西建設(株)代表取締役社長
岡 田 秀 夫 石川島播磨重工業(株)九州支社長
向 吉太郎 岑原製作所理事九州支店長
内 山 勉 (株)嘉穂製作所代表取締役社長
中 村 隆 作 川崎重工業(株)九州支社長
熊 本 典 臣 (株)クボタ理事九州支社長
古 賀 俊 之 (株)栗本鐵工所九州支店長
渡 辺 正 美 (株)コマツ中国九州エリアオフィス・エリアマネージャー
井 上 芳 勝 世保重工業(株)福岡営業所長
吉 住 一 成 西部電機(株)取締役副社長

筒 井 博 幸 (株)西島製作所九州支店長
中 山 弘 志 (株)中山鉄工所代表取締役社長
西 田 進 一 西田鉄工(株)代表取締役社長
古 閑 一 征 日本鉄塔工業(株)福岡駐在理事
山 田 光 二 日立建機(株)西日本支社長
村 上 晃 (株)丸島アクアシステム九州駐在理事
平 川 正 秀 (株)三井三池製作所福岡支店長
飯 田 重 雄 三菱重工業(株)九州支社長
池 内 修 ヤンマーディーゼル(株)福岡支店長
山 田 勝 征 (株)サンエンジニアリング代表取締役社長
牧 卓 彌 九州建設機械販売(株)代表取締役会長
三 木 保 三新工業(株)代表取締役社長
米 俊 生 住友建機販売(株)九州統括部部長
専 頭 廣 三 いすゞ自動車九州(株)代表取締役社長
井 手 田 英 二 三井物産マシナリー(株)西日本支店副支店長
北 垣 久 兒 之 西鉄建機(株)代表取締役社長
会 計 監 事
高 坂 賢 三郎 日本鋪道(株)常務取締役九州支店長
柴 田 秀 美 東邦地下工機(株)営業部長

評 議 員 (順不同)

代 表 評 議 員

森 将 彦 国土交通省九州地方整備局
道路部長

評 議 員

高 場 正 富 國土交通省九州地方整備局
技術調整管理官
中 村 健 一 國土交通省九州地方整備局
筑後川工事事務所長
森 昌 文 國土交通省九州地方整備局
福岡国道工事事務所長
藤 本 昭 國土交通省九州地方整備局

九州技術事務所長
平 田 光 宏 (社)日本土木工業会九州支部部長
高 坂 賢 三郎 (社)日本道路建設業協会九州支部部長
森 實 裕 (社)日本機械土工協会常務理事

【支部便り】

顧 問 (順不同)

風間 匡 日本道路公団九州支社建設
部長
小泉 勝 水資源開発公団筑後川開発
局次長

菊川 滋 福岡県土木部長
川上 義幸 佐賀県土木部長
中野 正則 長崎県土木部長
今坂 堅三 熊本県土木部長
田中 慎一郎 大分県土木建築部長
岩切 武志 宮崎県土木部長
直江 延明 鹿児島県土木部長

平間 和俊 福岡市土木局長
五郎丸 辰彦 北九州市建設局長
山本 茂樹 前福岡市助役(元九州支部
副支部長)

参 与 (順不同)

竹中 幸生 (株)間組九州支店

前田 隆 三井建設(株)九州支店
村上 晃 (株)丸島アクリシステム九
州支店
古川 啓吉 前整備部会長

高浜 哲郎 元施工部会長
小林 玲児 元企画委員長
香西 茂良 前企画委員長

部 会 長 (順不同)

企画部会長 寺本直孝	技術部会長 藤本昭	施工部会長 谷山伸郎	整備部会長 鶴田博
企画委員長 相川亮			

建設機械優良運転員・整備員の表彰

——北海道支部——

北海道支部の平成 14 年度（第 37 回）建設機械優良運転員・整備員の表彰式は、6 月 6 日開かれた第 50 回通常総会に引き続ぎ行われた。広報委員会で厳正に選考し、運転員 9 名、整備員 5 名を表彰該当者として支部長に上申し、被表彰者を決定した。表彰式は、佐野事務長より遼考経過の報告、大庭支部長による表彰状及び記念品の授与の後、大庭支部長が祝辞を述べ閉会した。被表彰者は次のとおりである。

《運転員》 9 名

砂金宏（北海道機械開発(株)）、小田嶋實（中定建設工業(株)）、加野島涉（(株)堀口組）、柄沢康晴（中村建設(株)）、国分修（秋津道路(株)）、佐藤徹（道路工業(株)）、坂元正義（島田建設(株)）、白井法幸（世紀東急工業(株)）、山本一成（札幌建設運送(株)）

《整備員》 5 名

田中潔美（日立建機(株)）、成田正雄（日通機工(株)）、藤井 勝（中道機械(株)）、吉田正治（北海道川重建機(株)）、若狭聖男（片桐機械(株)）

東北支部創立 50 周年記念式典・ 東北地方整備局長表彰・建設機械化功労者・ 優良建設機械運転員・整備員・ 学生懸賞論文表彰

——東 北 支 部 ——

東北支部は昭和 28 年 2 月 14 日に創設され本年度 50 周年を迎えた。東北支部第 50 回通常総会後、引続いてホテル仙台プラザ 3 階松島南の間において支部創立 50 周年記念式典が挙行され、国土交通省東北地方整備局長、本部会長に御出席を頂き、次の表彰が行われた。なお学生懸賞論文最優秀賞は本誌 62 頁に掲載されている。被表彰者は次のとおりである。

《国土交通省東北地方整備局長表彰》

団体 社団法人日本建設機械化協会東北支部
個人 福田 正（東北支部顧問 元東北支部長）

柳澤栄司（東北支部顧問 元東北支部長）

石井嘉一（東北支部運営委員）

《本部会長賞》

深堀哲男（日立造船(株)東北支社）、佐藤勝三（佐藤工業(株)）、三浦吉美（(株)奥村組東北支店）

《建設機械化功労者》 6 名

和島政人（(株)工組）、後藤盛男（(株)伊藤組）、飯島一之（佐藤鉄工(株)仙台支店）、山田仁一（三菱重工業(株)東北支社）、山崎 晃（(株)日本除雪機製作所東北営業所）、武藤一成（(株)酒井鉄工所仙台営業所）

《優良建設機械運転員》 20 名

安部源蔵（小国開発(株)）、佐々木久利（(株)日本ハイウェイとうほく）、須藤忠男（鹿島建設(株)東北支店）、山初 清（創和建設(株)）、大滝剛治（日本鋪道(株)東北支店）、鈴木哲夫（日本鋪道(株)東北支店）、佐藤新之助（スバル興業(株)仙台営業所）、後藤 誠（大成ロテック(株)東北支社）、五十嵐正行（鶴岡建設(株)）、阿部政司（鶴岡建設(株)）、伊藤慎太郎（小国開発(株)）、都築好昭（鹿島建設(株)東北支店）、武田勇一（佐藤建設(株)）、橋場 実（宮城建設(株)）、小野寺一夫（日本鋪道(株)東北支店）、奈良義則（日本鋪道(株)東北支店）、近内武彦（大成ロテック(株)東北支社）、今泉 操（(株)工組）、佐藤佐久夫（鶴岡建設(株)）、田口哲朗（日本道路(株)東北支店）

《優良建設機械整備員》 13 名

庄子佳行（(株)カワサキマシンシステムズ東北支社）、甲田 仁（日立建機(株)東北支社）、菅間武雄（コマツ山形(株)）、門ノ澤武志（宮城建設(株)）、小見山 正（コマツ青森(株)）、土岐育男（コマツ青森(株)）、朝田庸一（(株)カワサキマシンシステムズ東北支社）、田中利夫（コマツ山形(株)）、井上 勇（コマツ山形(株)）、白戸作三郎（日本鋪道(株)東北支店）、本間則夫（コマツ青森(株)）、佐藤清悦（東北建設機械販売(株)）、相蘇正志（東北ティー・シー・エム(株)）

《永年継続団体会員表彰》 141 社

《学生懸賞論文表彰者》

・最優秀賞

泉 亘（東北大学大学院工学研究科地球工学専攻）

・優秀賞 6 名

北山弘康（八戸工業高等専門学校）、加村晃良（福島工業高等専門学校）、松崎拓歩（福島工業高等専門学校）、橋本佳征（八戸工業高等専門学校）、阿部 弾（東北大学工学部地球工学科）、草薙ミカ（秋田工業高等専門学校）

支部便り /

学校)

・佳作 6 名

谷本真佑（八戸工業高等専門学校）、三浦祐子（八戸工業高等専門学校）、柳生宣徳（東北大学大学院地球工学専攻）、菊地弘通（福島工業高等専門学校）、寺田和史（東北大学大学院地球工学専攻）、坂本和仁（福島工業高等専門学校）

・団体賞

八戸工業高等専門学校、福島工業高等専門学校

優良建設機械運転員・整備員 及び支部事業功労者の表彰

——北陸支部——

北陸支部第 25 回優良運転員・整備員及び北陸支部事業功労者の表彰を 6 月 26 日に開催された北陸支部 40 周年記念式典で行った。この表彰は日頃第一線で建設機械の運転業務に、また、整備にたずさわり他の模範となる方々と北陸支部事業に永年ご協力をいただいた方々を選考委員会及び運営委員会の議決を経て表彰することが決定された。優良運転員・整備員は今年度を含め延べ 370 名の受賞者となった。

なお、今回の受賞者は次のとおりである。

《優良運転員》 8 名

金子謙一（（株）松井組）、佐久間數春（（株）加賀田組）、西潟和家（日本道路（株））、藤沢福重（日本舗道（株））、松本茂二（（株）上越商会）、片岡重信（（株）富山環境整備）、喜多正巳（西村工業（株））、松本美明（北陸道路標識（株））

《優良整備員》 5 名

安達正治（丸運建設（株））、小林俊雄（コマツ新潟（株））、菅沢正利（日立建機（株））、番 勝徳（世紀東急工業（株））、堀 健治（（株）カワサキマシンシステムズ）

《個人功労者》 24 名

池田久夫（林建設工業（株））、内山和夫（（株）福田組）、浦上修啓（鹿島建設（株）北陸支店）、金子忠司（（有）星野白動車工業）、河村周二（（株）カワサキマシンシステムズ新潟支店）、後藤信一（（株）福田組）、小柳彰（元鹿島道路（株）北陸支店）、高村利彦（（株）笛田組）、武田圭司（北陸キャタピラーミシビ建機販売（株））、竹田隼雄（日本道路（株）北信越支店）、豊田 衛（北越ティーシーエム（株））、中川健太郎（三井道路（株）北陸営業所）、中邨 篤（北陸パブリックメンテナンス（株））、西田哲夫（世紀東急工業（株）北陸支店）、畠山三郎（石黒建設（株））、平山建治（（株）田原製作所）、舟田 敏（元日本舗道（株）北信越支店）、古沢孝史（範多機械（株））、真島 靖（大成ロック（株）北陸支社）、松井由明（福田道路（株））、安田員也（（株）安田工作所）、山口家嗣（（株）加賀田組）、山田達男（岩崎工業（株））、山崎祐治（（有）山崎サービス）

《団体会員功労社》 161 社（社名省略）

建設機械優良技術員の表彰

——中部支部——

中部支部の第 33 回建設機械優良技術員の表彰式は 6 月 7 日開催された第 45 回支部通常総会に引続いて名古屋の中日パレスに於て行われた。建設機械の優良技術員として運転部門・整備部門・管理部門の 3 部門を対象に表彰が行われた。本表彰は

支部団体会員 17 社から推薦された技術員について、選考委員会で選考の結果、運転部門で 10 名、整備部門で 4 名、管理部門で 3 名を表彰該当者として支部長に申達し表彰することが決定された。

表彰式は梅田事務局長の開会の辞に始まり上屋支部長から表彰状と記念品が贈られ、お祝いの言葉と激励の挨拶があり、総会出席者全員の拍手をもって祝し閉会とした。

なお、被表彰者は次のとおりである。

《運転部門》

安藤 徹（岐阜工業（株））、鰺岡正彦（日本道路（株）中部支店）、石原健司（中部土木（株））、影山一夫（名工建設（株））、佐藤章典（日本車輪製造（株）機電本部）、竹原誠一（世紀東急工業（株）名古屋支店）、東島博之（大有建設（株））、古澤大輔（岐建（株））、堀 浩一郎（（株）市川工務店）、三浦伸宣（太啓建設（株））

《整備部門》

小山勝弘（（株）アクティオ名古屋支店）、佐治信道（大和機工（株））、早川佳雄（マルマテクニカ（株）名古屋事務所）、宮田 実（愛知日野自動車（株））

《管理部門》

武波 仁（鹿島道路（株）中部支店）、堀井善治（（株）荏原製作所中部支社）、宮地 徹（住友建機販売（株）名古屋技術研修所）

建設機械優良運転員・整備員の表彰

——関西支部——

関西支部平成 14 年度建設機械優良運転員・整備員の表彰式は 6 月 4 日の開催された第 53 回支部通常総会において、大阪キャッスルホテル 7F 会議室で挙行された。

受賞者は、関西支部団体会員の代表者から推薦のあった者について運営委員会の議を経て支部長が決定した。

資格については、運転員・整備員とも現在の会社に引続き満 5 年以上勤務し、それぞれ所要の免許資格を有し、勤務成績、技量とも優秀で他の模範とするにあたるものとしている。

関西支部では、29 回目の表彰式で運転員 2 名、整備員 5 名が受賞した。表彰式は総会出席者全員の見守る中で、選考経過報告の後高野支部長から表彰状と記念品が贈られ満場の祝福を受けた。

なお今回の受賞者は次のとおりである。

《優良運転員》 2 名

原口智二（（株）大林組）、宮本 薫（コベルコ建機（株））

《優良整備員》 5 名

庵森克己（新キャタピラーミシビ建機（株））、猪谷博史（（株）竹中工務店）、栗山元良（西尾レントオール（株））、源島隆治（近畿キャタピラーミシビ建機販売（株））、野口健二（日立建機（株））

建設機械優良技術員の表彰

——中國支部——

中国支部の平成 14 年度建設機械優良技術員の表彰式が、第 51 回支部通常総会に引続いて、6 月 5 日リーガーロイヤルホテル広島において挙行された。

本表彰は当支部加入会員会社より 1 社 1 名とし、同一会社に

支部便り

満5年以上勤続し、勤務成績、技術ともに優秀で他の模範となる優良技術員を表彰するもので、当支部としては、31回目の実施である。

被推薦者を運営委員会等で慎重に選者の結果、運転部門5名、整備部門4名、管理部門9名をそれぞれ表彰することに決定した。

表彰式は、中井事務局長より開会の辞に次いで、推薦準備の説明および選考結果の報告があり、佐々木支部長より表彰状と記念品が全員に贈られ、支部長のお祝いの詞と激励の挨拶があつて閉会した。

なお、被表彰者は次のとおりである。

《運転部門》 5名

中川信一 ((株)井木組), 錦織基樹 (大福工業(株)), 持田義之 (美保テクノス(株)), 屋城 駿 (日本道路(株)中国支店), 山崎隆義 (まるなか建設(株))

《整備部門》 4名

石田義徳 (三洋重機(株)), 石中清吉 (中国キャタピラーミシビ工機販売(株)), 篠原輝光 (中外企業(株)), 松井哲徳 (日立建機(株)広島営業所)

《管理部門》 9名

大畑政男 ((株)相原組), 川口雄一郎 (中国工業(株)), 小林一成 ((株)伏光組), 濱本泰隆 (沼田建設(株)), 原田哲也 (宮川興業(株)), 孕石博之 (神岡建設(株)), 横山正土 (五洋建設(株)中国支店), 森田栄一 (小松建設工業(株)広島支店), 川上一美 (フジタ道路(株)広島支店)

——中国支部創立50周年記念式典を開催——

会員関係者はもとより、主務官庁の中国経済産業局長・中国地方整備局長をはじめ来賓多数を迎え、総数281名の出席のもとに支部長式辞、来賓祝辞に続き会長表彰、会員への感謝状贈呈(団体会員に対する感謝状127社、個人に対する表彰26名)等創立50周年記念式典がとどこおり無く挙行された。

記念式典に引き続き、記念講演会では「宇宙開発と日本の行方」と題して的川泰宣教授を講師に迎え宇宙開発にまつわる興味深いお話を聞かせて頂くことができた。

最後に記念祝賀会が行われ、昔の思い出話に花が咲く中に、盛会のうちに終了した。

優良建設機械運転員・整備員の表彰

——四国支部——

平成14年度優良建設機械運転員・整備員の表彰式を、平成14年6月4日(火)に開催された第28回通常総会に引き続いて同会場であるリーガホテルゼスト高松において挙行した。

受彰者は、四国支部の会員会社の代表者から、長年勤務し、勤務成績、技量ともに優秀で他の模範となる運転員・整備員で

あるとして推薦のあった者について、企画部会で審査のうえ運営委員会の承認を経て決定した11名の運転員と2名の整備員である。

表彰式は、伊藤豪誠常任運営委員が受彰者を紹介し、室達朗支部長から表彰状と記念品が贈られ、武山正人副支部長の祝辞と激励の挨拶のあと、満場の祝福を受けて終了した。

なお、今回の受彰者は次のとおりである。

《運転員》 11名

大西利雄 ((株)コート), 川島明夫 (四国土建(株)), 勢井伸章 ((株)徳政組), 原内政文 ((株)村上組), 冲本 雄 (宮田建設(株)), 久徳啓二 (金亀建設(株)), 竹本正徳 (日本道路(株)), 森川 健 (村上工芸(株)), 河合重夫 (本田技建(株)), 河野圭史 (前田道路(株)), 土居立明 ((株)晃立)

《整備員》 2名

香西良彦 (四国機器(株)), 古川克典 (コベルコ建機(株))

建設の機械化功労者表彰

——九州支部——

平成14年度支部活動功績者に対する会長表彰および建設の機械化功労者表彰が去る6月7日開催の第46回通常総会に引き続いて、ホテルニューオータニ博多において挙行された。会長表彰は永年の支部活動に貢献された次の両氏が渡邊副会長から感謝状と記念品が贈られた。

《功労者(本部会長賞)》

鹿野浩利 ((株)栗本鐵工所九州支店), 飛松智明 (前日立建機(株)西日本支社)

また、支部長表彰は、支部団体会員代表者から推薦のあった者について、企画委員会で審議のうえ運営委員会の議を経て支部長が受彰者を決定したものである。

表彰式は城ヶ崎事務局長の司会で進められ、川崎支部長から各部門の代表者に、その他は井田副支部から表彰状と記念品がそれぞれ贈られた。川崎支部長の祝辞と激励の挨拶のあと、満場の祝福を受けた後記念撮影で終了した。なお今回の受彰者は次のとおりである。

《運転部門》 2名

岡本典生 (朝日工業(株)), 井上茂昭 ((株)エスシー・マシナリー九州機械センター)

《整備部門》 3名

西之園近雄 (日立建機(株)西日本支社), 市原一太 ((株)筑豊製作所), 岩松哲史 (住友建機販売(株)九州統括部)

《管理部門》 1名

竹崎和夫 (日本輔道(株)九州支店)